

令和元(2019)年度 第2回学校運営協議会 議事録

- 1 日 時 令和元(2019)年7月29日(月) 14:30～16:30
- 2 場 所 日光明峰高等学校 メディアⅠ教室
- 3 出席者 委員9名(4名欠席)
その他栃木県教育委員会事務局から2名、本校事務局職員7名、他校教員1名
- 4 司 会 本校教頭
- 5 次 第
 - (1)開会
 - (2)会長あいさつ
 - (3)校長あいさつ
 - (4)報告 (下記6の通り)
 - (5)協議 (下記7の通り)
 - (6)その他 (下記8の通り)
 - (7)閉会
- 6 報告
 - (1)「県立学校魅力化フォーラム」発表内容
 - 6月15日(土)に県庁東館講堂で行われた「県立学校魅力化フォーラム」において、「学校運営協議会制度を活用した魅力ある高校づくり」と題した本校の発表について報告
 - 本協議会委員のうち○名及び本校教職員○名が、当日のフォーラムに参加
 - 成果
 - ・平成30年度からの本校の取組を十分に発表することができた
 - ・今年度から学校運営協議会が始まった他の4校の県立高校に対し、先進事例として参考となる内容の発表ができた
 - (2)中学校訪問
 - 6月上旬から、上都賀地区17校、下都賀地区1校、宇河地区4校の計22校を訪問
 - 目的：一日体験学習参加を増やすための本校の概要説明
 - 訪問者：教務主任及び1学年担任等
 - 持参物：本校学校案内、本校1年生から後輩へのメッセージ
 - 伝達内容
 - ・学び直しの充実、落ち着いた態度で学校生活を送っている生徒の姿、卒業生の進路状況等
 - 成果
 - ・生徒の学校生活や本校の取組に対する好感触を得る
 - (3)一日体験学習(8月22日(木))の申込状況
 - 申込者数：7月1日現在99名 (昨年度(74名)比+25名)
 - 特徴：日光地区の女子中学生及び見学を希望者する保護者が増加

(4) アイスホッケーの問い合わせ状況

○一日体験学習への申込者数は4名であるが、体験練習会(8月23(金)・24日(土)実施)の希望者は約20名

○下宿所に入ることを希望する生徒は、現在約13名

(5) 「日光明峰高校だより」の発行状況

○現在の記事内容の説明や協賛者状況等を説明。

〔会長〕

- ・記事の内容や構成を、高校生自身が行うと面白い。高校生チーム取材チームを作り、全体の一部の部分の担当させてはどうか。

7 協議

○日光明峰高校の短期・中期目標について

校長から、資料に基づいて本校の短期・中期目標について説明

〔校長〕

本校の存続条件の入学者数を超えることと、そのために効果的な手を打っていくことが短期目標となるが、来年度入試だけでなく、2年連続でそれを達成することにより、中学生や保護者、地域等からの安定的な評価を獲得したい。そのためには、アイスホッケー・スピードスケート部の活躍や下宿所の設置、また学び直しの学習や日光の地域資源を活用した特色ある教育活動などを積極的にPRしたい。

しかし、54名を超えることばかりを考えた取組は意味がない。本校で受け入れた生徒を3年間でどのように成長させたかを形として示したい。それがあって初めて本校が評価されることになる。中学校時代では考えられないような成長、例えば進路実現の結果などを見せられるようにしたい。

〔委員〕

中期目標の具体的な姿を説明願いたい。

〔校長〕

「生徒がどう変わったか」を示すことにある。たとえば、サロン活動においては、「地域の方たちと一緒に活動しています。交流しています」という形はできているが、ただやっているだけでなく、活動を通して生徒たちが自分で課題を見つけ、地域の方を巻き込んで取り組み、成果発表を行うというように、生徒を変容させることを目標としたい。

〔委員〕

具体的な数値目標はあるのか

〔校長〕

必ずしも数値で示せるものはないが、外部への発表の場を設け、生徒の成長の姿を示したい。

〔会長〕

心の成長を客観的に評価するのは難しい。大学生は「リフレクション」という2単位の授業で、大学4年間で自分がどのように変わったのかをプレゼンテーションさせている。明峰高校では、3年間の取り組みでの成長を生徒に自己評価させ、外部にもみてもらうという評価でも良いのではないか。

〔委員〕

中期目標で、「中堅以上の大学を狙える生徒」とあるが、まずは自身でしっかりとした目標を持ち、就職・進学を目指していくこと、自ら進んで進路を切り開いていけるような意識付けが大切である。

〔委員〕

短期目標のところの「学び直し・リスタート」のところに「学力に自信のない生徒」とあ

るが、そうした生徒だけを募集しているかに見えてしまわないだろうか。

〔委員〕

観光地なので、地元の店や企業とタイアップし、地元の魅力をPRするような取り組みにも積極的に取り組んでほしい。高校生のアイデアや発想は非常に豊かである。

〔委員〕

アイスホッケー部の体験練習会にたくさんの生徒が来てくれることはうれしいが、仮に全員下宿に入ったら、次の年の空き部屋がなくなり入学者に敬遠されてしまうことが心配だ。

〔委員〕

とにかく、今度の入試で54名を超えることが重要である。

〔会長〕

この問題について、全体会だけで議論を尽くせないのであれば、部会を開いていただきたい。アイスホッケーの下宿所がテーマなので、この協議会のメンバー以外の方に部会に入ってもらうことが可能だろうか、会則の変更はできるのか、またどんな手立てがあるのか。

〔県教委担当者〕

年度途中から新たなメンバーを選んだり会則を変更することは難しいので、アドバイザーとして呼んでいただきたい。

〔委員〕

栃木県アイスホッケー連盟の副会長でもあるので、連盟として支援していくこともできる。

8 その他

(1) 一日体験学習へのかき氷の提供

学校運営協議会からという形で参加した中学生にかき氷を提供することが了承される。

(2) 次回の日時の確認

〔教頭〕

11月8日（金）の14：30からを予定したい。 →了承